

いのちの原郷

~洞窟の心~

むらかみよしこ 夕ペストリー展

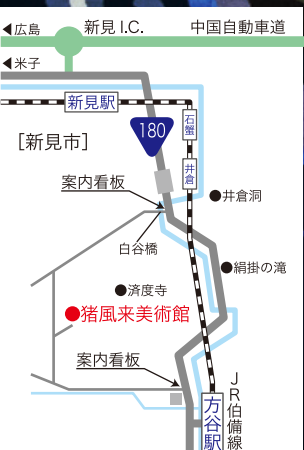


私たちは内なる洞窟をもっている。
 大地(地球)と一体の、すこし湿り気のある深い胎内。
 あらゆる生命を宿らせ、休息させ、
 新しい生命を送り出してくれる原郷である。
 暴力や力づくで侵されることがあってはいけない。
 清く美しいものがそこでは流れ、聖なる力が宿るところ。
 疲れた者たちが憩い、光の世界で駆けた足を休ませ、
 風に吹かれて生き抜いた魂をまどろませる。

会期 2018年 3月1日(木)~5月27日(日)

昨年、縄文式竪穴住居建設に携わった。丸い形の茅葺きの住居は母なる大地と心をつなぐ大地の子宮である。縄文の人々の死生観は土器や土偶の文様や形にも現れていて、命を育み産み出す大地の豊饒を願う祈りに満ちている。母なる大地の女神を敬うスピリットは世界中にあったようだ。それは洞窟壁画にもまた。今回の作品は、縄文の竪穴住居と洞窟を貫く共通の心——命の原郷——に迫ることを意識して創作をはじめた。洞窟の壁に变幻する動物や生き物たちを縄文文様で織り込みながら暗い胎内を巡り、時空を超えた命の世界を表現したいと思った。手紡ぎ・草木染・手織り作品。どうぞご覧ください。(むらかみよしこ)

——作品『いのちの原郷~洞窟の心~』(手紡ぎ・草木染・手織り作品250×250cm)



【開館時間】午前9:30 ~ 午後5:00
 【休館日】月曜(祝日は開館・翌火曜休館)
 【観覧料】一般400円 / 高校生200円
 【アクセス】岡山から車で約90分
 岡山空港から車で約70分
 賀陽 I.C.から車で約45分
 新見 I.C.から車で約30分
 井倉駅からタクシーで約15分
 方谷駅からタクシーで約10分

猪風来美術館
 新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609
 TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

縄文野焼き技法の第一人者であり、現代縄文アートの創始者として知られる造形作家・猪風来(いふうらい)。
 猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による猪風来作品をはじめとした二百数十点を常設展示しております。